

平成 29 年 7 月 21 日

普通期 稲作情報 第2号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

1 生育概況

6月20日～7月18日の平均気温は平年より1.6℃高く、日照時間は152%と多く、降水量は93%と少なく経過しました。農林業総合試験場の作況では、6月9日移植の夢つくしは、草丈は平年より29%高く、茎数は7%少なく、主稈葉数は0.8葉多くなっています。また、6月21日植えのヒノヒカリは、草丈は14～18%高く、茎数は15%少なく、主稈葉数は0.4葉多くなっており、出穂は平年に比べ、2～3日早くなると予想されます。

2 水管理

稲の根は、出穂期頃まで増えますがその後、新根は出ないため、今後の水管理で活力ある根を保ちます。

●中干し

土に軽い亀裂を入れ、土中に酸素を供給します。中干しは土が黒く乾いた状態が好ましく、白く乾いた状態で大きな亀裂が入る強い中干しは根を痛めるので途中で走り水をします。

●間断かん水

中干し終了後は、急に湛水すると根腐れの原因になります。間断かん水で徐々に水に慣らしていきます。

●湛水

穂孕み期から出穂開花期にかけては、花水として湛水状態にします。

※台風襲来時は、茎葉からの蒸散が大きいため深水にしてください。台風通過後も、水稻の水分吸収が盛んになるため、数日間は水が切れないうち注意してください。

3 穂肥

穂肥時期の決め方(6月20日移植のヒノヒカリの例)



7月中旬
ほ場一面一様に濃い緑

7月下旬～
地力窒素の発現が低下し、ほ場に濃いところと薄いところの色ムラができる。穂肥時期は近い。

8月上旬～
ほ場全体が薄くなり、色ムラがなくなる。
この時期に茎をむいて、3～5ミリの幼穂を確認したら穂肥時期

品種別出穂期予想と穂肥時期（一般平坦地）

品 種	予想出穂期	穂肥 1 回目	穂肥 2 回目
夢つくし	8 / 8 頃 (6 / 9 植)	7 / 2 1 頃	
つくしろまん	8 / 1 9 頃 (6 / 2 0 植)	7 / 3 1 頃	
元気つくし	8 / 1 9 頃 (6 / 2 0 植)	7 / 3 1 頃	1 回目から 7 日後
ヒノヒカリ	8 / 2 6 頃 (6 / 2 0 植)	8 / 6 頃	
ツクシホマレ	8 / 3 1 頃 (6 / 2 0 植)	8 / 1 0 頃	1 回目から 7 ~ 1 0 日後

○穂肥施用量は、稲作ごよみを参照してください。
 (葉いもちが多発した場合は、穂肥施用量を減じてください)

4 病害虫防除

いもち病は、一部野菜跡で葉いもちが認められていますが、平年より少ない状態です。
 紋枯病は今後、多くなると予想されます。ウンカ類、コブノメイガは少なく、カメムシ類は多いと予想されます。

補正防除(葉いもち)

薬剤名	防除時期	散布量
ビーム粉剤DL	発生初期 (収穫 7 日前まで)	3~4kg / 10a
ノンブラスフロアブル	発生初期 (収穫 14 日前まで)	1000倍
コラトップ粒剤5	葉いもち : 初発10日前~初発時 穂いもち : 出穂30日前~5日前まで	3~4kg / 10a

補正防除(紋枯病)

昨年、紋枯病の発生が多かったほ場では、紋枯病の補正防除を実施しましょう。

	対象病害虫	薬剤名	防除時期	散布量
液剤体系	紋枯病	モンセレンフロアブル	収穫21日前 まで	1500倍

※粒剤体系については稲作ごよみを参照して下さい。防除時期は上記と同じです。

(3)斑点米カメムシ類の耕種的防除について

畦畔や休耕田のイネ科雑草・牧草等が発生源となりますので、**出穂2週間前までに草刈り**を行いましょ。

(※出穂直前になってから除草すると、雑草に生育していたカメムシを水田に追いやることになるので、逆効果となります)